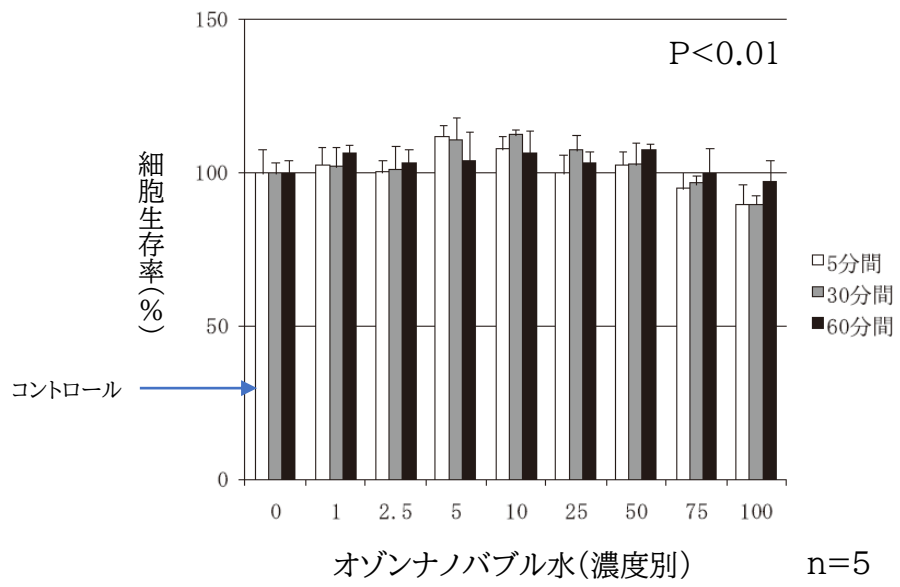
安全性

オゾンナノバブル水は歯肉線維芽細胞に対して安全性が高い

患者抜歯時に得られた健常歯肉組織から採取したヒト歯肉線維芽細胞に対して、
各濃度のオゾンナノバブル水（※原水を100％とし、PBSで希釈）
を5分・30分・60分間作用させ、細胞生存率を求めた。



オゾンナノバブル水の根幹洗浄への応用に関する基礎的研究
（神奈川歯科大学口腔治療学講座歯内療法学分野　他）より引用・改変

【結果】

細胞生存率において、各希釈濃度で有意差は認められなかった。

▶ オゾンナノバブル水は、**口腔組織に対して安全性が高い。**

※当資料は関係者様向けに、論文・発表内容を簡潔にまとめたものです。原著をご入用の場合は、担当者までお問合せください。

nanosui